

★1月の休館日：5日(日)～10日(金)、14日(火)、15日(水)、20日(月)、27日(月)



プラネタリウム番組のご案内

1月の一般投影 2025年の天文現象

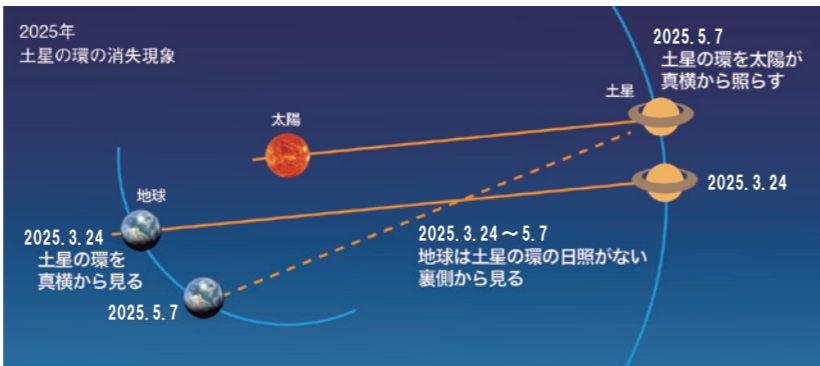
夜空を見ていると、季節ごとに色々な星座を楽しむことができます。また、月や惑星は、それぞれの周期で星座の中を巡っていきます。2025年はいつ頃、どのような星空が楽しめるでしょうか。

2025年は土星の環が見えなくなる年です。土星の環は氷の粒が集まってできています。小型の望遠鏡でも見えるほどの広がりを持っていますが、厚みはわずか100mほどしかありません。このため、見る方向によって、土星の環が見えなくなってしまいます。3月24日、土星の環を真横から見るため、環が見えなくなります。また、5月7日は、太陽の光が真横から土星の環を照らすため、環が見えなくなります。

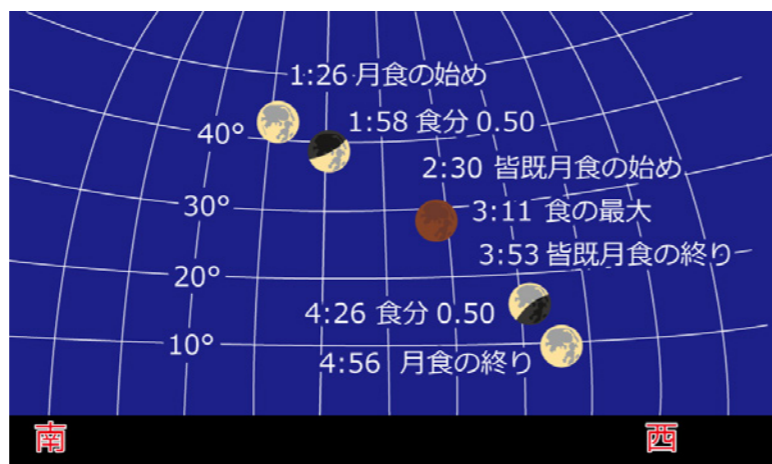
9月8日には月食が起こります。月食とは、太陽が作る地球の影に月が入ることによって、満月が欠けて見える天文現象です。一部だけが影に入るときは部分月食、月全体が影に入るときは皆既月食といいます。2025年は皆既月食が見られます。日本全国で楽しめる皆既月食は、2022年以来3年ぶりです。

流星群も見逃せません。流星群は、決まった時期にまとまってたくさんの流れ星が見えるものです。中でも毎年たくさんの流れ星が見られる1月のしぶんぎ座流星群、8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群は三大流星群と呼ばれます。しかし、流星群の夜でも明るい月明かりがあると、観測の条件は悪くなってしまいます。今年は1月4日のしぶんぎ座流星群と12月14日のふたご座流星群の条件が良く、流れ星がたくさん見えます。

今月は2025年の天文現象についてお話しします。



土星の環の消失現象（2025年3月24日、5月7日）
©天体観測手帳2025



皆既月食（2025年9月8日）

キッズプラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。
土日祝 11:10～/14:30～

こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

★1/25(土)★ 9:50～

テーマ：火星の観察

オリオンとゆかいななかまたち

★1/11(土)～2/24(月・振)★

軌道星隊シゴセンジャー(冬場所)

★1/11(土)～1/13(月・祝)★ 11:10～ ※事前申込制

星と音楽のプラネタリウム

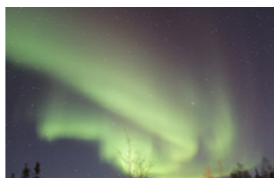
※事前申込制

★素敵な生の音楽とともに星空をお楽しみいただく特別投影です。

★1/18(土)★ 13:10～ <出演> Fiori (声楽・フルート・ピアノ演奏)

2月の一般投影 オーロラ～天空を舞う神秘的な光～

オーロラは、空を覆うカーテンのように輝き、幻想的な美しさで人々を魅了してくれます。オーロラは、太陽からやってくる太陽風によって起こる現象です。さまざまな色や形でゆらめくオーロラの魅力を紹介します。

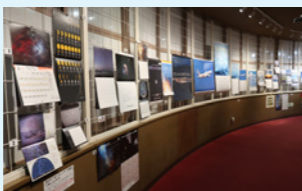


特別展のご案内

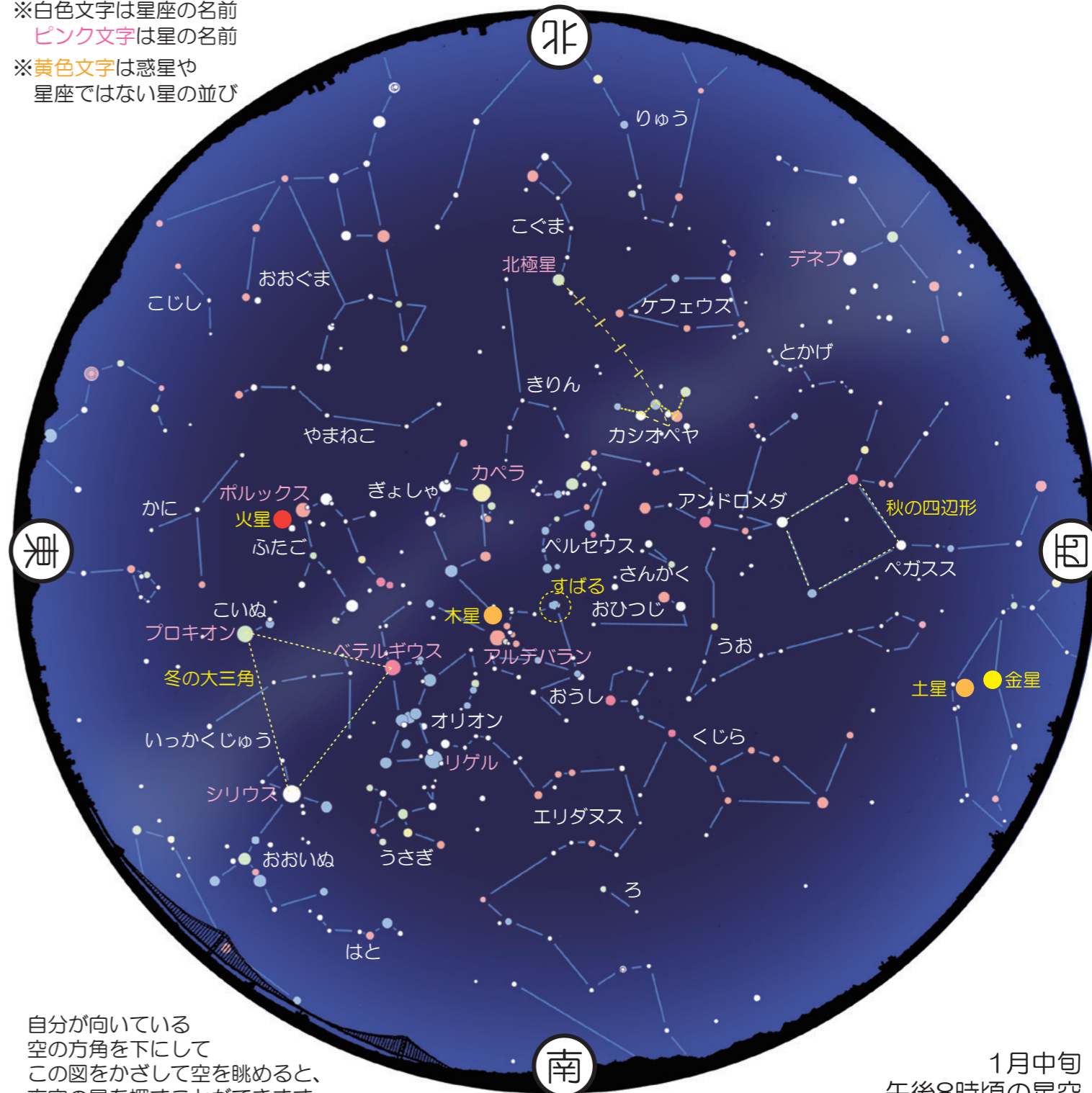
～1/26(日)

2025年全国カレンダー展

企業や公共施設、動物園などが発行するさまざまな新年カレンダーを展示しています。



※白色文字は星座の名前
ピンク文字は星の名前
※黄色文字は惑星や星座ではない星の並び



自分が向いている空の方角を下にしてこの図をかざして空を眺めると、夜空の星を探ることができます。

1月中旬 午後8時頃の星空

冬は1年の内で明るい星が一番多く、湿度が低く空が澄んでいるため、美しい星空を楽しむことができます。

この冬は日没後の空に金星、土星、木星、火星が明るく輝いています。4日には南西の空に金星、月、土星が並びます。

冬の冬三角を形作るオリオン座のベテルギウス、おおいて座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをはじめ、1等星も多く見られる時期です。明るい星でにぎやかな冬の空をぜひ見上げてみてください。

1月の月の暦

- 7日 ● 上弦
- 14日 ● 望(満月)
- 22日 ● 下弦
- 29日 ● 朔(新月)

1月の日の出・入(明石)

日の出	日の入
1日 7:07	17:00
15日 7:07	17:12
30日 7:00	17:27

1月の天文現象

- 1日 元日(明石の初日の出は7:07)
- 3日 月と金星が並び
- 4日 しぶんぎ座流星群が極大
- 4日 月と金星・土星が並び
- 5日 小寒
- 10日 金星が東方最大離角
- 10日 月と木星が並び
- 12日 火星が最接近する
- 14日 月と火星が並び
- 16日 火星が衝
- 20日 大寒

2月の天文現象

- 2日 月と金星が並び
- 3日 立春
- 7日 月と木星が並び
- 18日 雨水